

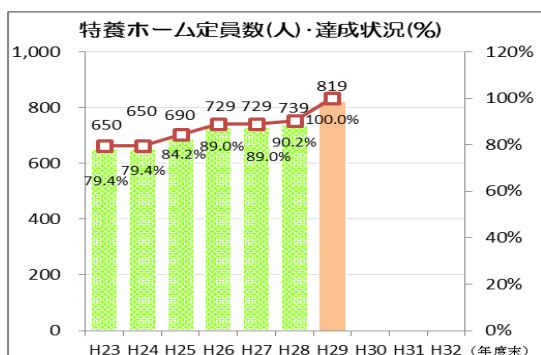
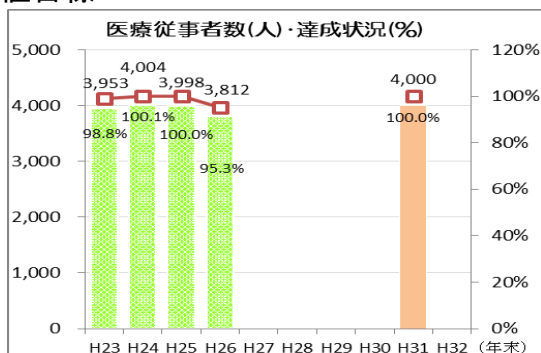
基本目標4 安心な暮らしをつくる

地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築や介護サービスなど福祉サービスの充実を図るとともに、将来人口を見据えた地域の医療サービスの充実を図ります。

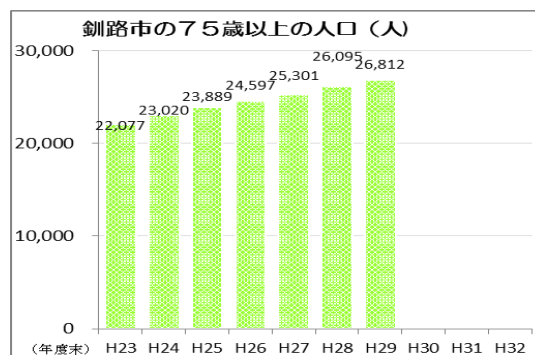
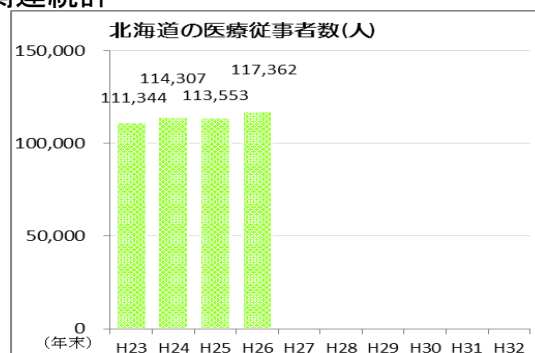
地域における人と人のつながりを大切にし、互いに助け合う気運を醸成するため、町内会の加入促進などにより、地域コミュニティの強化を図ります。

地震や津波など様々な自然災害などに対応し、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、防災意識の向上や各種の防災対策の充実を図るとともに、防犯や交通安全による地域の安全性の向上を目指します。

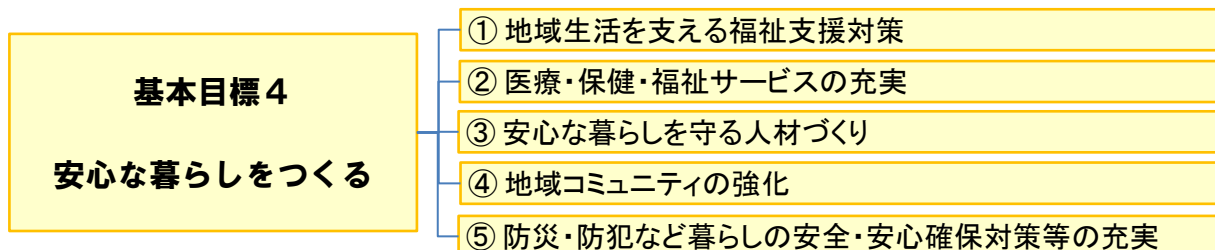
数値目標



関連統計



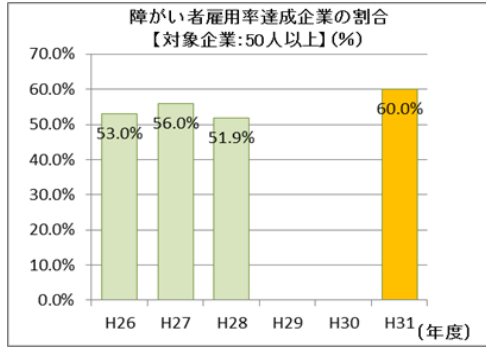
施策の体系



【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる

① 地域生活を支える福祉支援対策

ア 障がい者への就労支援の充実



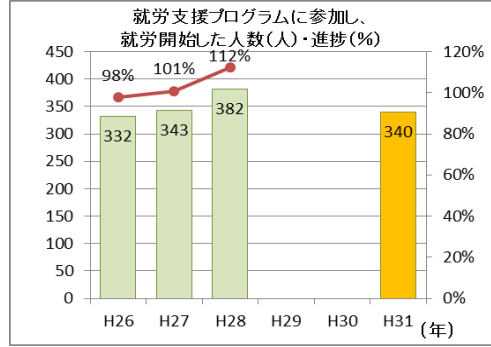
増要因

—

減要因

達成企業、雇用障がい者数、実雇用率は、前年を上回る数値であるものの、雇用労働者数が増加(前年対比2,245人増)とともに対象となる50人以上の企業数(対前年比20社増)も増加となり、達成企業の割合として、減となった。

イ 生活困窮者等への就労支援の充実



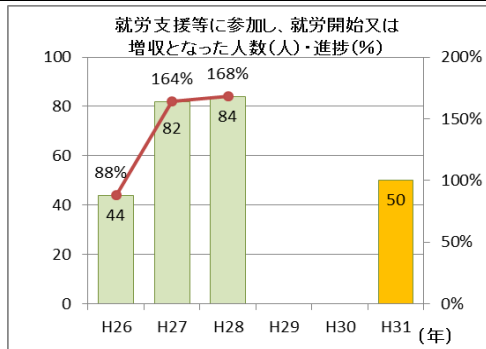
増要因

就労支援コーナーの利用促進による

減要因

—

イ 生活困窮者等への就労支援の充実



増要因

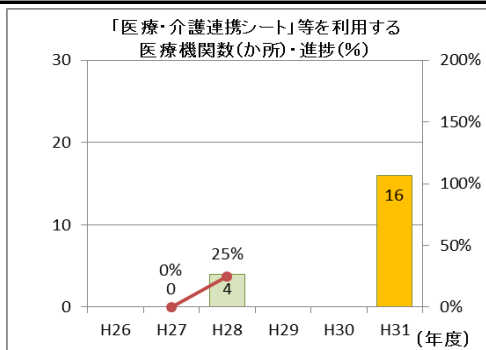
—

減要因

—

② 医療・保健・福祉サービスの充実

ア 地域包括ケアシステムなどの高齢者を支える仕組みづくり



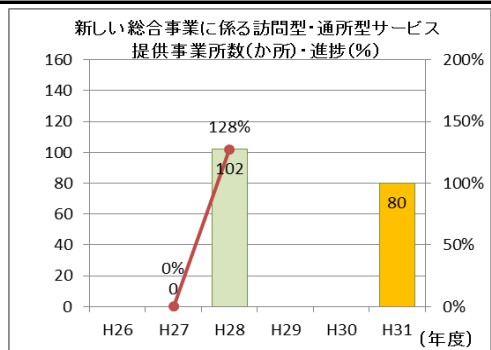
増要因

H29.5月下旬より運用を開始。今後医療機関数は増加していく見込み

減要因

—

ア 地域包括ケアシステムなどの高齢者を支える仕組みづくり



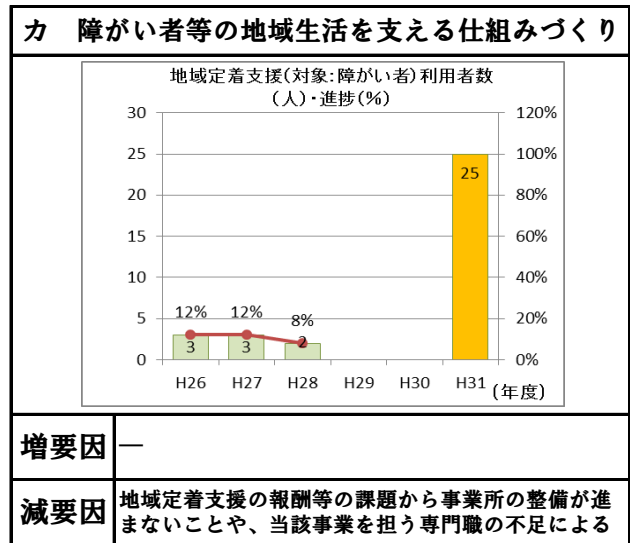
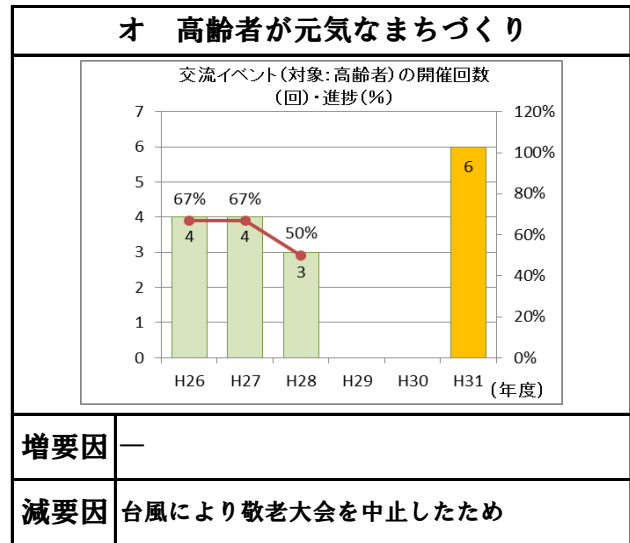
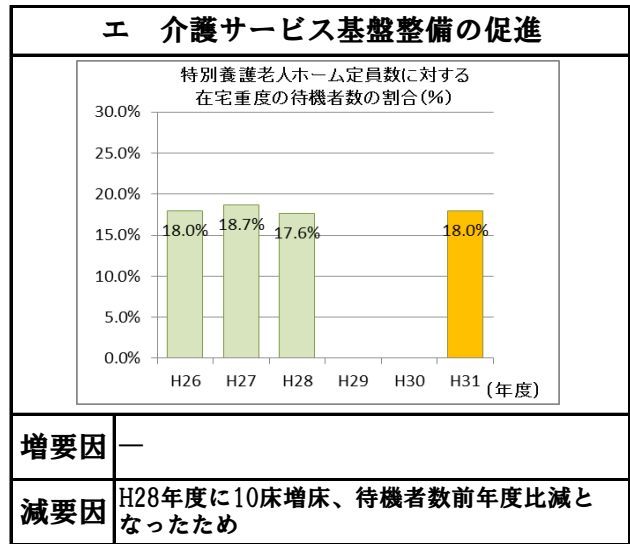
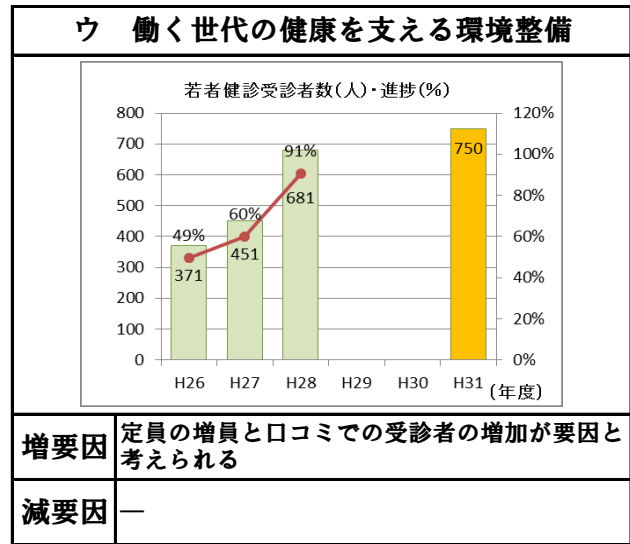
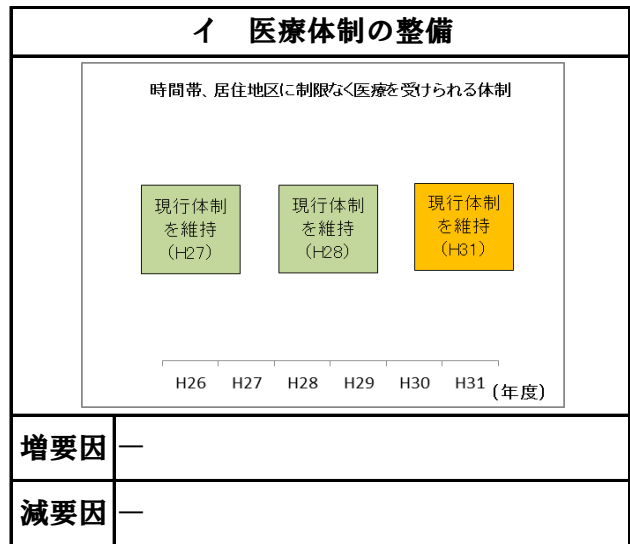
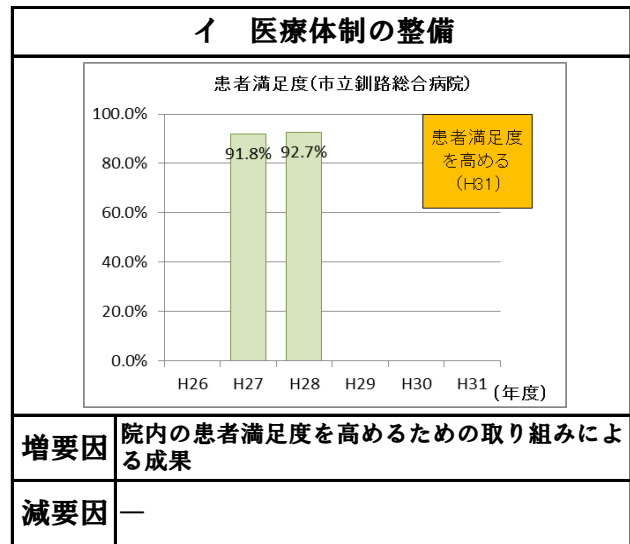
増要因

介護予防事業所の殆どが総合事業を実施

減要因

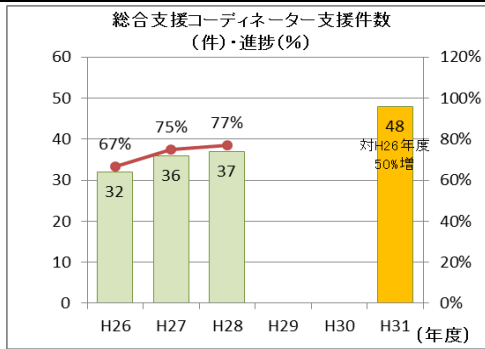
—

【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる



【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる

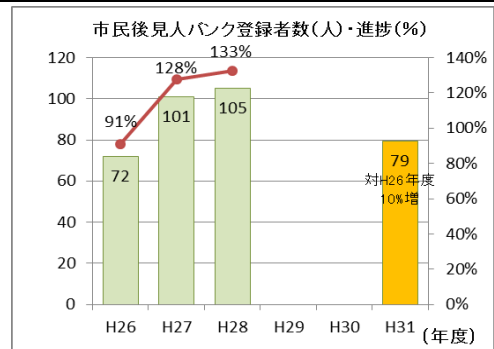
カ 障がい者等の地域生活を支える仕組みづくり



増要因 平成26年度より、総合支援コーディネーター業務を実施、事業の浸透に伴い、地域の当該業務に係るニーズの増加による

減要因 —

カ 障がい者等の地域生活を支える仕組みづくり

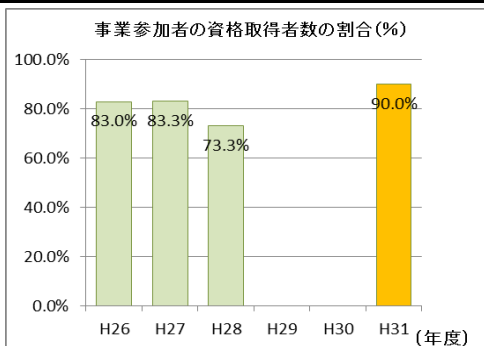


増要因 市民後見人養成講座実施による登録者の増加

減要因 —

③安心な暮らしを守る人材づくり

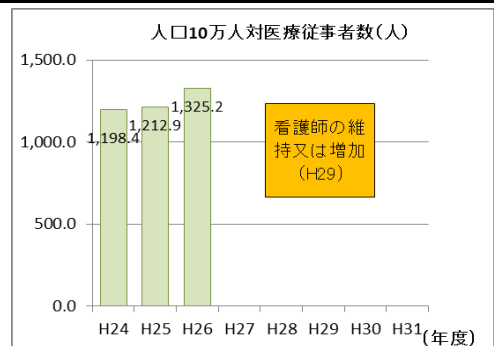
ア 介護人材の確保



増要因 —

減要因 中途離職者などにより、15事業所中11事業所(11人)資格取得

イ 医療従事者の確保

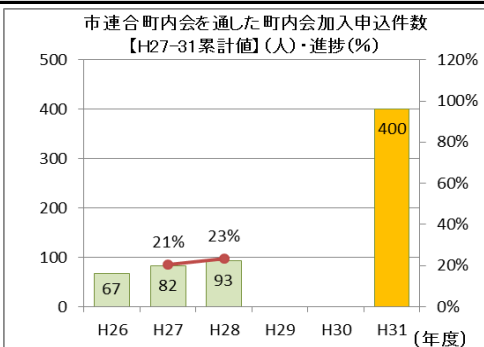


増要因 —

減要因 —

④地域コミュニティの強化

ア 地域コミュニティの強化



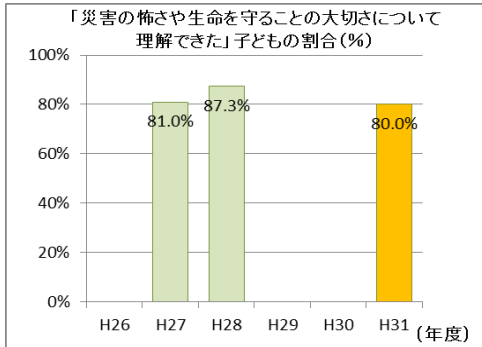
増要因 新たに建設された公営住宅を、加入に結びつけたことが、増加の主な要因である

減要因 —

【基本目標4】 安心な暮らしをつくる

⑤防災・防犯など暮らしの安全・安心確保対策等の充実

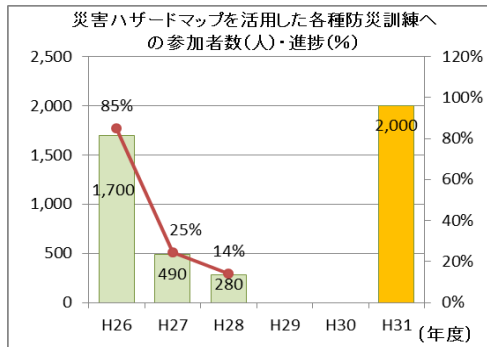
ア 防災体制の強化



増要因 これまでの防災教育のノウハウが学校現場に浸透するとともに、関係機関の協力が円滑に進められたため

減要因 —

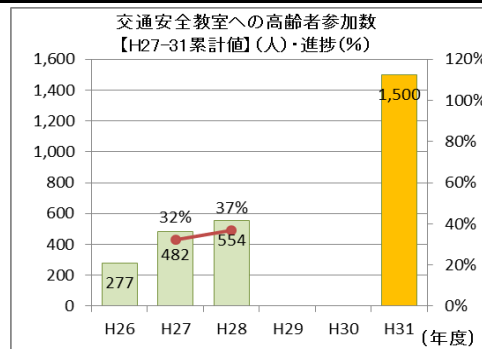
ア 防災体制の強化



増要因 —

減要因 H28年は、台風の影響により、防災総合訓練(参集想定約1,000人)、阿寒地区訓練(参集想定約300人)、音別地区訓練(参集想定約300人)を中止し、津波避難訓練(愛国東・美原・文苑・芦野地区)のみの実施となったため。

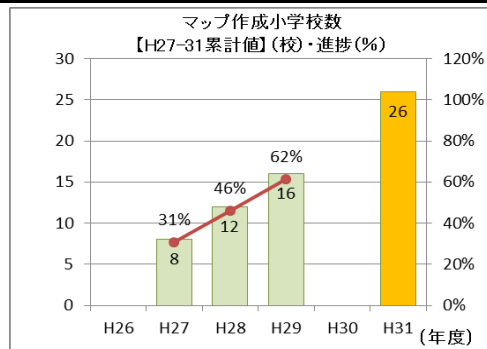
イ 地域を守る安全対策の強化



増要因 これまで、教室依頼があった団体へのみの対応であったが、28年度は高齢者が関係する行事等の情報を収集し、働きかけたことが、増加の要因である

減要因 —

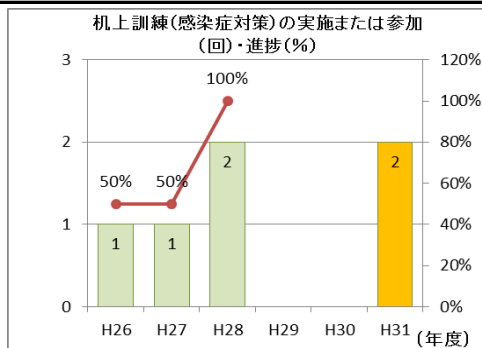
イ 地域を守る安全対策の強化



増要因 市内を6地区に分け、毎年4~6校で作成している

減要因 —

ウ 防疫、健康危機管理体制の整備



増要因 —

減要因 —